

(お知らせ)

地震発生後のプラント状況について（21 時 20 分現在、第五報）

平成 23 年 3 月 11 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

本日、14 時 46 分頃に、宮城県沖を震源とする地震が発生しておりますが、21 時 20 分現在の運転状況は以下の通りです。

地震後の設備パトロールを実施し、各プラントのオペレーティングフロアの水たまり以外に、異常がないことを確認いたしました。

現時点における外部への放射能の影響はありません。

なお、第四報までにお知らせした内容に加え、4号機のオペレーティングフロアで新たに約4Lの水たまりを発見しました。

<オペレーティングフロアにおける水たまりの状況>

号機	水たまりの量	放射エネルギー
1号機	約0.8L	約100ベクレル
2号機	約4.8L	検出限界値未満
4号機	約4.17L*	約2,130ベクレル
7号機	約0.78L	約330ベクレル

*第四報まで約0.12Lとお知らせしておりましたが、その後のパトロール結果を反映し、見直しをしております。

飛散した水たまりの総量は、約10.6Lで、放射エネルギーは約2,560ベクレルであり、これは主要なラドン温泉約260ccに相当します。飛散した水たまりについては、拭き取り清掃を行いました。

<以下、第四報までにお知らせ済みの内容>

地震前に運転中であった1、5、6、7号機については、安定運転を継続しています。発電所内で観測された地震の加速度の最大値は、2号機原子炉建屋基礎版における15.5ガルでした。

地震後の現場パトロールにより、これまでに1、2、4、7号機の原子炉建屋のオペレーティングフロア（管理区域内）の使用済燃料プール付近で、地震により飛散したプール水と思われる水たまりが確認されました。

なお、水たまりの水は拡がっておらず、管理区域のオペレーティングフロア内にとどまっており、外部への流出はありません。

以上